Creative Enzymes®

マウス由来アルカリフォスファターゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1634

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アルカリフォスファターゼ（ALP、ALKP、ALPase、Alk Phos）（EC 3.1.3.1）は、ヌクレオチド、タンパク質、アルカロイドなどの多くの種類の分子からリン酸基を除去する役割を持つ加水分解酵素です。リン酸基を除去するプロセスは脱リン酸化と呼ばれます。名前が示すように、アルカリフォスファターゼはアルカリ性環境で最も効果的です。時には基本的なフォスファターゼと同義で使用されることもあります。
別名	Alpl; Akp-2; Akp2; ALP; APTNAP; TNAP; TNSALP; HOPS; 組織非特異的アイソザイム

製品情報

種	マウス
由来	昆虫細胞（バキュロウイルス）で、C末端にHisタグが融合されています。
形態	液体
製剤化	20% グリセロールを含む pH 8.0 の 20 mM Tris-HCl 中の 0.5 mg/ml 溶液。
EC番号	EC 3.1.3.1
分子量	54.5 kDa
純度	> SDS-PAGEによる95%
活性	> 46,000 pmol/min/ug
濃度	0.5 mg/ml
エンドトキシンレベル	< 1 EU/µg
単位定義	1pmoleの4-メチルアンビフェリルリン酸をリン酸と4-メチルアンビフェロンに加水分解するのに必要な酵素の量として定義され、pH 8.8、25°Cで1分あたりの値です。

保管・発送情報

保存方法	短期間（1□2週間）の保管は+4°Cで行ってください。長期保管の場合は、分注して-70°Cで保管してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。